

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書

年 月 日

防府市消防長（署長）

殿

届出者

住 所 防府市大字西浦154番地の1

氏 名 株式会社 藤商
代表取締役 藤村 敏匡

電話番号 0835-29-0016

下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。

記

防火対象物	所在地	防府市大字西浦字潮合154番1					
	名称	㈱藤商 防府工場					
	用途	14項 倉庫					
	規模	地上	2階	地下	階	延べ面積	m ²
消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類等		消火器、自動火災報知設備					
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄			※ 備 考		

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 消防設備士又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、点検を実施した全ての者の情報を別記様式第3に記入し、添付すること。
 - 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
 - ※印欄は、記入しないこと。

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点 検 者					設 備 名	
住 所	防府市大字浜方 8 番地 5			氏 名	山内 清隆	
社 名	株式会社 初田消火器			電話番号	0835-22-3160	
資 格		消防設備士				
種類等		交付年月日	交付番号	交付知事	講習受講年月	
甲 種	特 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	1 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	2 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	3 類	年 月 日			年 月	
Ⓜ・乙種	4 類	H30年 2月 23日	00102	福岡県	R1年10月	
甲・乙種	5 類	年 月 日			年 月	
乙 種	6 類	H27年 3月 11日	00001	山口県	R年10月	
乙 種	7 類	年 月 日			年 月	
備 考						
資 格		消防設備点検資格者				
種類等		交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種		年 月 日		年 月 日		
1 種		R3年 12月 14日	142302477	R9年 3月 31日		
2 種		R2年 11月 18日	242201349	R8年 3月 31日		

点 検 者					設 備 名	
住 所				氏 名		
社 名				電話番号		
資 格		消防設備士				
種類等		交付年月日	交付番号	交付知事	講習受講年月	
甲 種	特 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	1 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	2 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	3 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	4 類	年 月 日			年 月	
甲・乙種	5 類	年 月 日			年 月	
乙 種	6 類	年 月 日			年 月	
乙 種	7 類	年 月 日			年 月	
備 考						
資 格		消防設備点検資格者				
種類等		交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種		年 月 日		年 月 日		
1 種		年 月 日		年 月 日		
2 種		年 月 日		年 月 日		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社（会社以外の法人に所属する場合は当該法人）に所属する場合には、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。
- 3 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習受講年月、有効期限を記載すること。
- 4 誘導灯及び誘導標識の点検を実施した者は、備考欄に電気工事士法（昭和35年法律第139号）第3条に既定する電気工事士免状又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第44条第1項に規定する第一種電気主任技術者免状、第二種電気主任技術者免状若しくは第三種電気主任技術者免状のいずれかの免状の種類、交付番号及び交付年月日を記載すること。（第二種消防設備点検資格者の免状の交付を受けている者を除く。）

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表

(その1)

名 称	(株)藤商 防府工場		防 火 管 理 者	
所在地	防府市大字西浦字潮合154番1		点検実施 責 任 者	表示登録会員番号 35-1-0011 株式会社 初田消火器 防府市大字浜方8番地5 山内 清隆 Tel:0835-22-3160
点検種別	機器点検・総合点検・ (設備等設置維持計画による点検)	点検年月日	5 年 4 月 11 日 ~ 5 年 4 月 11 日	
設 備 名	点 検 結 果		措 置 内 容	立 会 者
	判定	不 良 内 容		
消火器	⊙・不良			岡本 亜矢子
自動火災報知設備	⊙・不良			岡本 亜矢子

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合には「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

自動火災報知設備点検票

名 称	㈱藤商 防府工場		防 火 管理者		
所 在	防府市大字西浦字潮合154番1		立会者	岡本 亜矢子	
点検種別	機器・総合		点検年月日	5年4月11日 ~ 5年4月11日	
点 検 者	氏名	山内 清隆	点 検 者	社名 株式会社 初田消火器 TEL 0835-22-3160	
			所属会社	住所 防府市大字浜方8番地5	
点 検 設 備 名	受 信 機		製造者名	能美防災(株)	
			型式等	FAP-232 受第10-29号	
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判定	不良内容	
機 器 点 検					
予非 備常 電電 源源 ・ (内 蔵 型)	外 形	Ni-cd蓄電池	○		
	表 示	24V 0.225AH/5HR	○		
	※端子電圧	26.8V	○		
	※切替装置		○		
	※充電装置		○		
	※結線接続		○		
受 信 機 ・ 中 継 器	周囲の状況	事務所	○		
	外 形	P型2級	○		
	表 示		○		
	警戒区域の表示装置	3/5	○		
	電 圧 計	- V	○		
	ス イ ッ チ 類		○		
	ヒ ュ ー ズ 類	0.1, 0.5, 1 A	○		
	※継電器		○		
	表 示 灯		○		
	通 話 装 置		/		
	※結線接続		○		
	接 地	D種	○		
※火災表示等	蓄積式		○		
	アナログ式		/		
	二信号式		/		
	その他		/		
※注意表示		/			
回路導通		○			
設定表示温度等		/			
感知器作動等の表示		/			
予 備 品 等		○			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

感 知 器	外 形			○			
	警 戒 状 況	未 警 戒 部 分			○		
		感 知 区 域			○		
		適 応 性			○		
		機 能 障 害			○		
	※ 熱 感 知 器	ス ポ ッ ト 型		定温(再) 熱アナログ	○		
		分 布 型	空 気 管 式			○	
			熱 電 対 式・ 熱 半 導 体 式			/	
		感 知 線 型			/		
		※ 煙 感 知 器	ス ポ ッ ト 型		イオン 光電 アナログ	/	
	分 離 型			/			
	※ 炎 感 知 器		赤外線 紫外線		/		
	※ 多 信 号 感 知 器・ 複 合 式 感 知 器				/		
	遠隔試験機能を有する感知器				/		
発 信 機	周 囲 の 状 況			○			
	外 形		P型2級	○			
	表 示			○			
	押しボタン・送受話器			○			
	表 示 灯		24V	○			
音 響 装 置	外 形			○			
	取 付 状 態			○			
	音 圧 等			○			
	鳴 動 方 式		区分 相互	○			
※ 蓄 積 機 能				○			
※ 二 信 号 機 能				/			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
 7 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

警戒区域		感 知 器												※ 地区音響装置	発信機	点検結果			
番号 No.	名称	差動式			定温式			熱アナログ式 スポット型	※ 煙 式										
		※ 分布型			ス ポ ッ ト 型	ス ポ ッ ト 型	※ 感 知 線		スポット型				分離型						
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式					イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式				光 電 ア ナ ロ グ 式	非 蓄 積	蓄 積
1	1階				4												1	1	○
2	作業場 北	2															1	1	○
3	作業場 南	2															1	1	○
4-5	アキ																		
合 計		4			4												3	3	
備 考																			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 4 点検結果の欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

配線点検票 (設備名 自動火災報知設備)								
名 称	(株)藤商 防府工場				防 火 管理者			
所 在	防府市大字西浦字潮合154番1				立会者	岡本 亜矢子		
点検種別	総合		点検年月日	5年4月11日 ~ 5年4月11日				
点 検 者	氏名 山内 清隆		点 検 者 所属会社	社名 株式会社 初田消火器		TEL 0835-22-3160		
				住所 防府市大字浜方8番地5				
点 検 項 目	点 検 結 果				措 置 内 容			
	種別・容量等の内容		判定	不良内容				
総 合 点 検								
専 用 回 路	休憩室分電盤			/				
開 閉 器 ・ 遮 断 器	NFB 20 A			/				
ヒ ュ ー ズ 類				/				
絶 縁 抵 抗	常用 MΩ		非常 MΩ	/				
耐 熱 保 護				/				
備 考								
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名
	絶縁抵抗計	KEW3442	R4.4.1	共立電気				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 器 具 点 検 票										設置階	1 - 2	階			
名 称	(株)藤商 防府工場							防 火 管理者							
所 在	防府市大字西浦字潮合154番1							立会者	岡本 亜矢子						
点検種別	機器点検			点検年月日	5年4月11日 ~			5年4月11日							
点 検 者	氏名 山内 清隆			点 検 者 所属会社	社名 株式会社 初田消火器			TEL 0835-22-3160							
					住所 防府市大字浜方8番地5										
点 検 項 目				点 検 結 果						判 定		不 良 内 容		措 置 内 容	
				消 火 器 の 種 別											
				A	B	C	D	E	F						
機 器 点 検															
設 置 状 況	設 置 場 所	○								○					
	設 置 間 隔	○								○					
	適 応 性	○								○					
	耐 震 措 置	/								/					
表 示 ・ 標 識		○								○					
消 火 器 の 外 形	本 体 容 器	○								○					
	安 全 栓 の 封	○								○					
	安 全 栓	○								○					
	使用済みの表示装置	/								/					
	押し金具・レバー等	○								○					
	キ ャ ッ プ	○								○					
	ホ ー ス	○								○					
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○								○					
	指 示 圧 力 計	○								○					
	圧 力 調 整 器	/								/					
	安 全 弁	/								/					
	保 持 装 置	/								/					
車 輪 (車載式)	/								/						
ガス 導入管 (車載式)	/								/						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、
 Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消火器の内部等機能	本・体内内容筒器等	本体容器	/					/	
		内筒等	/					/	
		液面表示	/					/	
	消火薬剤	性状	/					/	
		消火薬剤量	/					/	
	加圧用ガス容器	/					/		
	カッター・押し金具	/					/		
	ホース	/					/		
	開閉式ノズル・切替式ノズル	/					/		
	指示圧力計	/					/		
	使用済みの表示装置	/					/		
	圧力調整器	/					/		
	安全弁・減圧孔 (排圧栓を含む。)	/					/		
	粉上り防止用封板	/					/		
	パッキン	/					/		
サイホン管・ガス導入管	/					/			
ろ過網	/					/			
放射能力	/					/			
消火器の耐圧性能		/					/		
簡易用消具	外形	/					/		
	水量等	/					/		

備考

測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	秤	手秤	R4.4.1					

器種名	設置数	点検数	合格数	要修理数	廃棄数
外形：粉末(蓄圧式)	6	6	6	0	0

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

